

森林吸収源計測・活用体制整備強化事業

平成 15 年度～ 22 年度（独立行政法人森林総合研究所再委託）

野々田稔郎・島田博匡

近年、温室効果ガスの吸排出量への関心が高まるとともに、京都議定書等との関係から、森林の炭素吸収量を明確にする必要が生じてきている。森林における地上部バイオマス、地下部バイオマス、土壌に含まれる炭素貯留量、枯死木とリターに含まれる炭素貯留量を報告する必要がある。このため、京都議定書の求めるレベルでの算定を行うための基礎資料を得ることを目的に、(独)森林総合研究所からの再委託を受け調査を実施した。なお、本事業は全国規模で行われている調査事業である。

1. 調査項目

県内6カ所について、調査グレード1（2箇所）、調査グレード2(4箇所)に分け、調査を実施した。調査項目は、①調査地概要調査（斜面方位、代表植生等）、②枯死木調査（プロット内の枯死木本数、直径等）、③堆積有機物調査（プロット内4箇所（0.25m²）の林床堆積有機物量等）、④土壌調査（堆積有機物量調査と同一地点において、地表から40cm深までの土壌断面調査及び土壌サンプル採取）、⑤代表土壌断面調査（プロット内1カ所において、地表から深さ1mまでの土壌断面調査及び土壌サンプル採取）の5項目であり、調査グレード1では調査項目の全て、調査グレード2では調査項目の①～④を実施した。

2. 調査の状況

以下の箇所について調査を実施し、再委託元へ報告を行った。

調査 ID	調査地の所在地	調査グレード	備 考
240300	度会郡度会町牧戸地内	1	スギ人工林
240315	度会郡南伊勢町伊勢路地内	2	ヒノキ人工林
240340	伊勢市宇治今在家町地内	1	ヒノキ人工林 基岩露出の影響で、調査項目③は 2 箇所の調査を実施
240345	志摩市志摩町越賀地内	2	常緑広葉樹林
240350	伊勢市宇治館町地内	2	常緑広葉樹林
240355	鳥羽市松尾町地内	2	ヒノキ人工林